

平成26年度 第4回理事会

日 時 平成26年7月10日（木） 15:30～

場 所 特別会議室

I. 議 題

1. 農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会（6月24日）の概要について
2. 通則法第38条に基づく大臣提出資料について
3. 森林保険業務を所掌する組織の名称及び設置場所について
4. 一般職員採用スケジュールについて
5. 森林総合研究所創立110周年記念事業について
6. 平成26年度の会計監査人の選任について
7. 森林農地整備センター職員募集（事務系）のお知らせ（案）について

II. 報 告

1. 森林保険移管準備拡大プロジェクトチームについて
2. 森林総合研究所本所等支出総点検プロジェクトチーム会議について
3. 研究職員の応募状況について
4. 平成27年4月採用職員試験における一次試験の実施状況について
5. 賃金改定交渉の概要について
6. その他

資 料

- I－1 第52回農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会議事次第等
- I－2 平成25事業年度 財務諸表（概要）等
- I－3 森林保険業務の受入に伴う名称及び設置場所について（案）
- I－4 一般職員採用スケジュール等について（研究・育種分）（案）
- I－5 森林総合研究所創立110周年記念行事について
- I－6 平成26年度会計監査人候補者の選定について
- I－7 森林農地整備センター職員募集（事務系・平成27年4月1日付け採用）のお知らせ(案)
- II－1 森林保険移管準備拡大プロジェクトチーム及び作業チームについて
- II－2 森林総合研究所本所等支出総点検プロジェクトチーム会議について
- II－3－1 研究職員公募一覧表（平成26年10月）等
- II－3－2 テニユア型任期付研究職員公募一覧（平成26年10月）等
- II－3－3 テニユア型任期付研究職員公募一覧（平成27年4月）等
- II－4 平成27年4月採用職員試験における一次試験の実施状況について（非公表）
- II－5 平成26年度賃金交渉の概要（非公表）
- II－6 主要行事（平成26年6月5日～平成26年7月9日）

第 5 2 回農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会議事次第

平成26年6月24日(火) 13:30～16:00

会場：農林水産省第3特別会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 独立行政法人森林総合研究所の平成25年度業務の実績に関する評価について
- (2) 独立行政法人森林総合研究所の平成25年度財務諸表について
- (3) その他

3 閉 会

第 5 2 回 林 野 分 科 会 時 間 割

13:30 ～ 13:35 (5分) 開会・資料確認等

【平成 2 5 年度財務諸表について】

13:35 ～ 14:00 (25分) 平成25年度財務諸表説明

14:00 ～ 14:15 (15分) 質疑・議決

【平成 2 5 年度業務の実績に関する評価について】

14:15 ～ 14:20 (5分) 評価に関する事務局説明

14:20 ～ 15:10 (50分) 自己評価結果概要説明

15:10 ～ 15:40 (30分) 質 疑

【その他】

15:40 ～ 15:59 (19分) 今後の日程等について
監事からの意見聴取について
独立行政法人改革について

16:00 閉 会

農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会委員名簿

任 期：平成25年2月14日～平成27年2月13日

委員（5名）

あし もと ひろ こ
足 本 裕 子

文化遺産を未来につなぐ森づくりの為に有識者会議事務局長

◎ さ か い ひ で お
酒 井 秀 夫

東京大学大学院農学生命科学研究科教授

た む ら さ な え
田 村 早 苗

青森大学経営学部教授

ぶ ん の きよ ま さ
文 野 清 正

文野公認会計士・税理士事務所所長

○ み つ い し ょ う じ
三 井 昭 二

三重大学名誉教授

専門委員（7名）

か た ぎ り し げ お
片 桐 成 夫

島根大学名誉教授

か と う と お る
加 藤 徹

宮城大学名誉教授

こ じ ま か つ み
小 島 克 己

東京大学アジア生物資源環境研究センター教授

と く ち な お こ
徳 地 直 子

京都大学フィールド科学教育研究センター教授

な か や ま え い こ
中 山 榮 子

昭和女子大学大学院生活機構研究科教授

ひ じ い な お き
肘 井 直 樹

名古屋大学大学院生命農学研究科教授

よ こ た ま さ ひ こ
横 田 正 彦

千葉県中部林業事務所森林管理課長

（五十音順、敬称略）

◎…分科会長

○…分科会長代理

資 料 一 覧

〈 資 料 〉

資 料 1 平成 2 5 年度評価単位自己評価シート

資 料 2 平成 2 5 年度契約関係資料

資 料 3 平成 2 5 年度財務諸表等

〈 参考資料 〉

参考資料 1 平成 2 5 年度具体的指標自己評価シート

参考資料 2 平成 2 4 年度業務実績評価結果通知後の対応状況

参考資料 3 平成 2 5 年度計画

参考資料 4 平成 2 6 年度計画（第 3 期中期目標、中期計画を含む三段表）

参考資料 5 独立行政法人の業務の実績に関する評価の視点等

参考資料 6 独立行政法人森林総合研究所の業務の実績に関する評価基準

参考資料 7 林野分科会における委員・専門委員の役割分担について

参考資料 8 「業務の実績についての意見・評価等」様式

参考資料 9 今後の日程等

参考資料 10 独立行政法人制度改革関連法案の骨子等について

今 後 の 日 程 等

- 6月24日(火) 第52回農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会
- 7月9日(水) 「業務の実績についての意見・評価等」の提出期限
- 7月25日(金) 農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会ワーキング
会合
開催場所：第3特別会議室
開催時間：10:00～17:00
※監事からの意見聴取を実施
- 8月22日(金) 第53回農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会
開催場所：第3特別会議室
開催時間：13:30～15:30

平成25事業年度 財務諸表(概要)

貸借対照表

(単位:円)

科 目	研究・育種勘定	特定地域整備等勘定	水源林勘定	調整	法人単位
資産の部					
I 流動資産					
現金及び預金	2,095,834,048	9,002,475,178	6,216,579,416		17,314,888,642
林道割賦売掛金	0	26,939,471,246	0		26,939,471,246
特定地域整備割賦売掛金	0	1,238,349,752	0		1,238,349,752
農用地整備割賦売掛金	0	45,757,502,298	0		45,757,502,298
たな卸資産	592,502	10,772,330,716	0		10,772,923,218
貯蔵品	592,502	0	0		592,502
特定地域整備建設仮勘定	0	10,772,330,716	0		10,772,330,716
前払費用	4,109,897	441,367	14,131,608		18,682,872
未収収益	0	101,583,855	231,117		101,814,972
未収入金	409,551,177	10,825	175,159		409,737,161
立替金	629,988	0	0		629,988
未収還付消費税等	0	41,013,206	66,704,281	△ 2,209,106	105,508,381
その他の流動資産	0	0	4,210,718		4,210,718
流動資産合計	2,510,717,612	93,853,178,443	6,302,032,299	△ 2,209,106	102,663,719,248
II 固定資産					
1 有形固定資産	44,990,727,346	743,224,745	969,191,262,872		1,014,925,214,963
水源林	0	0	967,794,916,077		967,794,916,077
建物	11,031,607,084	8,573,718	26,830,502		11,067,011,304
構築物	1,040,276,301	25,654,468	40,893,141		1,106,823,910
機械装置	8,191,468	0	0		8,191,468
車両運搬具	21,009,202	0	0		21,009,202
工具器具備品	583,565,428	12,664,559	59,885,152		656,115,139
土地	32,306,077,863	696,332,000	1,268,738,000		34,271,147,863
2 無形固定資産	98,228,760	502,016	1,171,136		99,901,912
特許権	14,064,102	0	0		14,064,102
ソフトウェア	48,807,781	134,016	851,136		49,792,933
電話加入権	4,536,000	368,000	320,000		5,224,000
工業所有権仮勘定	30,820,877	0	0		30,820,877
3 投資その他の資産	496,790	53,413,238	104,958,689		158,868,717
長期貸付金	0	18,000,000	0		18,000,000
敷金・保証金	0	35,413,238	104,958,689		140,371,927
預託金	496,790	0	0		496,790
固定資産合計	45,089,452,896	797,139,999	969,297,392,697		1,015,183,985,592
資産合計	47,600,170,508	94,650,318,442	975,599,424,996	△ 2,209,106	1,117,847,704,840

科 目	研究・育種勘定	特定地域整備等勘定	水源林勘定	調整	法人単位
負債の部					
Ⅰ 流動負債					
運営費交付金債務	651,342,611	0	0		651,342,611
預り寄附金	3,713,289	0	0		3,713,289
資産見返補助金等	0	8,558,227,859	0		8,558,227,859
預り補助金等	0	1,019,407,491	0		1,019,407,491
一年内償還予定森林総合研究所債券	0	3,600,000,000	3,000,000,000		6,600,000,000
短期借入金	0	11,312,308,427	12,347,500,000		23,659,808,427
リース債務(短期)	4,240,132	0	0		4,240,132
未払金	1,550,141,648	109,188,496	184,267,522		1,843,597,666
未払費用	112,554,390	96,052,784	199,869,205		408,476,379
未払国庫納付金	2,323,142	0	0		2,323,142
未払消費税等	2,209,106	0	0	△ 2,209,106	0
前受金	1,034,169	511,255	0		1,545,424
預り金	114,171,473	2,271,654	22,729,026		139,172,153
仮受金	0	0	205,042,921		205,042,921
流動負債合計	2,441,729,960	24,697,967,966	15,959,408,674	△ 2,209,106	43,096,897,494
Ⅱ 固定負債					
資産見返負債	1,116,311,712	10,020,548	102,433,141		1,228,765,401
資産見返運営費交付金	1,026,374,654	0	0		1,026,374,654
資産見返補助金等	7,870,147	10,020,548	102,433,141		120,323,836
資産見返物品受贈額	615,988	0	0		615,988
資産見返寄附金	81,450,923	0	0		81,450,923
森林総合研究所債券	0	12,400,000,000	15,400,000,000		27,800,000,000
債券発行差額	0	△ 840,580	△ 1,503,432		△ 2,344,012
長期借入金	0	49,564,613,000	128,892,500,000		178,457,113,000
引当金	0	2,126,895,770	2,353,988,855		4,480,884,625
退職給付引当金	0	2,126,895,770	2,353,988,855		4,480,884,625
固定負債合計	1,116,311,712	64,100,688,738	146,747,418,564		211,964,419,014
負債合計	3,558,041,672	88,798,656,704	162,706,827,238	△ 2,209,106	255,061,316,508
純資産の部					
Ⅰ 資本金	49,584,454,808	1,495,585,916	697,524,659,170		748,604,699,894
政府出資金	49,584,454,808	1,495,585,916	697,524,659,170		748,604,699,894
Ⅱ 資本剰余金	△ 5,826,334,669	30,200,001	113,689,795,569		107,893,660,901
資本剰余金	5,386,327,390	0	113,689,795,569		119,076,122,959
損益外減価償却累計額(－)	△ 11,209,510,229	0	0		△ 11,209,510,229
損益外減損損失累計額(－)	△ 3,151,830	0	0		△ 3,151,830
減資差益	0	30,200,001	0		30,200,001
Ⅲ 利益剰余金	284,008,697	4,325,875,821	1,678,143,019		6,288,027,537
前中期目標期間繰越積立金	81,473,864	3,675,522,783	547,574,231		4,304,570,878
積立金	180,978,559	401,420,266	763,258,992		1,345,657,817
当期末処分利益	21,556,274	248,932,772	367,309,796		637,798,842
(うち当期総利益)	21,556,274	248,932,772	367,309,796		637,798,842
純資産合計	44,042,128,836	5,851,661,738	812,892,597,758		862,786,388,332
負債純資産合計	47,600,170,508	94,650,318,442	975,599,424,996	△ 2,209,106	1,117,847,704,840
(参考) 減価償却累計額	△ 15,640,702,041	△ 17,391,130	△ 46,891,040		△ 15,704,984,211
減損損失累計額	△ 526,830	0	0		△ 526,830

損益計算書

(単位:円)

科 目	研究・育種勘定	特定地域整備等勘定	水源林勘定	調 整	法人単位
経常費用					
研究業務費	9,013,663,436	0	0	△ 2,209,106	9,011,454,330
人件費	6,044,376,992	0	0		6,044,376,992
業務委託費	883,457,457	0	0		883,457,457
減価償却費	388,662,193	0	0		388,662,193
賃借料	171,778,202	0	0		171,778,202
水道光熱費	442,621,139	0	0		442,621,139
消耗備品費	578,105,062	0	0		578,105,062
その他研究業務費	504,662,391	0	0	△ 2,209,106	502,453,285
分収造林原価	0	0	207,666,286		207,666,286
販売・解約事務費	0	0	257,538,629		257,538,629
林道整備譲渡原価	0	8,644,524,563	0		8,644,524,563
特定地域整備譲渡原価	0	2,446,405,771	0		2,446,405,771
農用地整備譲渡原価	0	35,657,184,345	0		35,657,184,345
一般管理費	1,094,654,815	209,735,793	645,605,507		1,949,996,115
人件費	893,082,392	123,692,604	461,325,803		1,478,100,799
退職給付引当金繰入	0	16,908,930	28,184,351		45,093,281
減価償却費	9,306,143	994,252	13,343,997		23,644,392
賃借料	6,253,354	31,710,816	44,619,722		82,583,892
消耗備品費	30,808,354	3,129,209	17,555,651		51,493,214
諸経費	0	20,286,848	29,199,890		49,486,738
その他一般管理費	155,204,572	13,013,134	51,376,093		219,593,799
財務費用	243,283	1,884,467,247	2,413,533,125		4,298,243,655
支払利息	243,283	0	0		243,283
借入金利息	0	1,598,915,416	2,176,953,001		3,775,868,417
債券利息	0	284,832,415	236,580,124		521,412,539
債券発行費	0	719,416	0		719,416
雑損	3,412,564	12,345,638	591,180		16,349,382
経常費用合計	10,111,974,098	48,854,663,357	3,524,934,727	△ 2,209,106	62,489,363,076
経常収益					
運営費交付金収益	8,593,774,137	0	0		8,593,774,137
施設費収益	114,737,492	0	0		114,737,492
手数料収入	10,314,047	0	0		10,314,047
成果普及等事業収入	15,556,938	0	0		15,556,938
分収造林収入	0	0	369,546,348		369,546,348
販売・解約事務費収入	0	0	258,913,322		258,913,322
林道整備割賦譲渡収入	0	2,320,309,527	0		2,320,309,527
特定地域整備割賦譲渡収入	0	981,496,200	0		981,496,200
農用地整備割賦譲渡収入	0	11,662,842,247	0		11,662,842,247
割賦利息収入	0	1,896,108,289	0		1,896,108,289
受託収入	735,352,461	0	0		735,352,461
政府等受託研究収入	420,934,441	0	0		420,934,441
政府等以外受託研究収入	247,228,489	0	0		247,228,489
その他受託収入	67,189,531	0	0		67,189,531
国庫補助金等収益	166,869,252	214,115,130	2,791,261,510		3,172,245,892
財産賃貸収入	1,522,030	0	0		1,522,030
寄附金収益	50,814,959	0	0		50,814,959
資産見返負債戻入	301,814,529	31,784,460,958	13,343,998		32,099,619,485
資産見返運営費交付金戻入	257,181,828	0	0		257,181,828
資産見返補助金等戻入	5,553,550	31,784,460,958	13,343,998		31,803,358,506
資産見返物品受贈額戻入	267,995	0	0		267,995
資産見返寄附金戻入	38,811,156	0	0		38,811,156
財務収益	431	13,066,178	12,155,199		25,221,808
政府補給金収入	0	0	4,533,125		4,533,125
受取利息	431	13,066,178	7,622,074		20,688,683
雑益	91,250,032	90,324,345	197,024,146	△ 2,209,106	376,389,417
経常収益合計	10,082,006,308	48,962,722,874	3,642,244,523	△ 2,209,106	62,684,764,599
経常損益	△ 29,967,790	108,059,517	117,309,796		195,401,523
臨時利益	449,999	0	0		449,999
固定資産売却益	449,999	0	0		449,999
当期純利益(△当期純損失)	△ 29,517,791	108,059,517	117,309,796		195,851,522
前中期目標期間繰越積立金取崩額	51,074,065	140,873,255	250,000,000		441,947,320
当期総利益	21,556,274	248,932,772	367,309,796		637,798,842

キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

科 目	研究・育種勘定	特定地域整備等勘定	水源林勘定	調 整	法人単位
I 業務活動によるキャッシュ・フロー					
原材料又はサービスの購入による支出	△ 2,532,785,199	△ 2,078,202,104	△ 27,088,409,586		△ 31,699,396,889
人件費支出	△ 6,937,316,682	△ 382,158,542	△ 2,893,434,040		△ 10,212,909,264
その他の業務支出	△ 82,803,782	△ 93,197,527	△ 527,638,353		△ 703,639,662
科研費支出	△ 349,163,855	0	0		△ 349,163,855
消費税支出	△ 14,280,921	0	0		△ 14,280,921
運営費交付金収入	8,828,662,000	0	0		8,828,662,000
政府交付金収入	0	223,968,000	0		223,968,000
受託収入	752,441,944	0	0		752,441,944
成果普及等事業収入	15,006,341	0	0		15,006,341
手数料収入	9,426,715	0	0		9,426,715
科研費収入	373,526,931	0	0		373,526,931
造林事業収入	0	0	986,295,302		986,295,302
林道事業収入	0	4,251,144,548	0		4,251,144,548
特定地域等整備等事業収入	0	8,992,605,325	0		8,992,605,325
国庫補助金等収入	201,760,497	1,499,424,334	30,745,328,000		32,446,512,831
補助金等の精算による返還金の支出	0	△ 20,660,393	△ 313,350		△ 20,973,743
政府補給金収入	0	0	4,533,125		4,533,125
寄附金収入	24,644,449	0	0		24,644,449
その他の事業収入等	160,150,550	0	0		160,150,550
小計	449,268,988	12,392,923,641	1,226,361,098		14,068,553,727
利息の受取額	431	1,932,100,017	7,673,565		1,939,774,013
利息の支払額	△ 243,283	△ 1,936,243,889	△ 3,365,449,103		△ 5,301,936,275
業務活動によるキャッシュ・フロー	449,026,136	12,388,779,769	△ 2,131,414,440		10,706,391,465
II 投資活動によるキャッシュ・フロー					
定期預金の預入による支出	0	△ 13,200,000,000	△ 4,900,000,000		△ 18,100,000,000
定期預金の払戻による収入	0	12,600,000,000	5,000,000,000		17,600,000,000
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 1,383,906,379	△ 3,127,540	△ 24,371,330		△ 1,411,405,249
有形固定資産の売却による収入	2,840,382	0	0		2,840,382
敷金及び保証金の差入による支出	0	0	△ 12,630,912		△ 12,630,912
敷金及び保証金の回収による収入	0	166,000	5,663,000		5,829,000
投資その他の資産の取得による支出	△ 17,450	0	0		△ 17,450
投資その他の資産の売却による収入	15,390	0	0		15,390
貸付金の回収による収入	0	3,400,000	0		3,400,000
施設費による収入	1,086,830,000	0	0		1,086,830,000
施設費の精算による返還金の支出	△ 8,985,934	0	0		△ 8,985,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 303,223,991	△ 599,561,540	68,660,758		△ 834,124,773
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入れによる収入	0	1,800,000,000	0		1,800,000,000
短期借入金の返済による支出	0	△ 2,012,000,000	0		△ 2,012,000,000
債券の償還による支出	0	△ 3,000,000,000	△ 2,000,000,000		△ 5,000,000,000
長期借入れによる収入	0	477,000,000	6,500,000,000		6,977,000,000
長期借入金の返済による支出	0	△ 11,971,127,630	△ 12,787,500,000		△ 24,758,627,630
政府出資金の受入による収入	0	0	10,778,000,000		10,778,000,000
リース債務の返済による支出	△ 6,976,517	0	0		△ 6,976,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,976,517	△ 14,706,127,630	2,490,500,000		△ 12,222,604,147
IV 資金増加額又は減少額(△)	138,825,628	△ 2,916,909,401	427,746,318		△ 2,350,337,455
V 資金期首残高	1,957,008,420	3,519,384,579	1,488,833,098		6,965,226,097
VI 資金期末残高	2,095,834,048	602,475,178	1,916,579,416		4,614,888,642

利益の処分にに関する書類

(単位:円)

区 分	研究・育種勘定	特定地域整備等勘定	水源林勘定	計
I 当期末処分利益	21,556,274	248,932,802	367,309,796	637,798,872
当期総利益	21,556,274	248,932,802	367,309,796	637,798,872
II 利益処分数額				
積立金	21,556,274	248,932,802	367,309,796	637,798,872
計	21,556,274	248,932,802	367,309,796	637,798,872

行政サービス実施コスト計算書

(単位:円)

科 目	研究・育種勘定	特定地域整備等勘定	水源林勘定	調 整	法人単位
I 業務費用					
(1) 損益計算書上の費用					
研 究 業 務 費	9,013,663,436	0	0	△ 2,209,106	9,011,454,330
分 収 造 林 原 価	0	0	207,666,286		207,666,286
販 売 ・ 解 約 事 務 費	0	0	257,538,629		257,538,629
林 道 整 備 譲 渡 原 価	0	8,644,524,563	0		8,644,524,563
特 定 地 域 整 備 譲 渡 原 価	0	2,446,405,771	0		2,446,405,771
農 用 地 整 備 譲 渡 原 価	0	35,657,184,345	0		35,657,184,345
一 般 管 理 費	1,094,654,815	209,735,793	645,605,507		1,949,996,115
財 務 費 用	243,283	1,884,467,247	2,413,533,125		4,298,243,655
雑 損	3,412,564	12,345,638	591,180		16,349,382
(2) (控除)自己収入等					
手 数 料 収 入	△ 10,314,047	0	0		△ 10,314,047
成 果 普 及 等 事 業 収 入	△ 15,556,938	0	0		△ 15,556,938
分 収 造 林 収 入	0	0	△ 369,546,348		△ 369,546,348
販 売 ・ 解 約 事 務 費 収 入	0	0	△ 258,913,322		△ 258,913,322
林 道 整 備 割 賦 譲 渡 収 入	0	△ 2,320,309,527	0		△ 2,320,309,527
特 定 地 域 整 備 割 賦 譲 渡 収 入	0	△ 981,496,200	0		△ 981,496,200
農 用 地 整 備 割 賦 譲 渡 収 入	0	△ 11,662,842,247	0		△ 11,662,842,247
割 賦 利 息 収 入	0	△ 1,896,108,289	0		△ 1,896,108,289
受 託 収 入	△ 735,352,461	0	0		△ 735,352,461
財 産 賃 貸 収 入	△ 1,522,030	0	0		△ 1,522,030
寄 附 金 収 益	△ 50,814,959	0	0		△ 50,814,959
資 産 見 返 寄 附 金 戻 入	△ 38,811,156	0	0		△ 38,811,156
受 取 利 息	△ 431	△ 13,066,178	△ 7,622,074		△ 20,688,683
雑 益	△ 2,669,332	△ 90,324,345	△ 197,024,146	2,209,106	△ 287,808,717
臨 時 利 益	△ 449,999	0	0		△ 449,999
業務費用合計	9,256,482,745	31,890,516,571	2,691,828,837		43,838,828,153
II 損益外減価償却等相当額	789,663,659	0	0		789,663,659
III 損益外減損損失相当額	9,178,531	0	41,994,927		51,173,458
IV 損益外除売却差額相当額	5,924,974	0	1,822,935,682		1,828,860,656
V 引当外賞与増加見積額	36,722,037	△ 1,784,542	16,691,516		51,629,011
VI 引当外退職給付増加見積額	△ 145,654,402	△ 148,545,629	△ 110,469,809		△ 404,669,840
VII 機会費用					
政府出資等の機会費用	279,655,324	9,571,750	5,073,890,412		5,363,117,486
無利子による融資取引の機会費用	0	135,930	0		135,930
VIII 行政サービス実施コスト	10,231,972,868	31,749,894,080	9,536,871,565		51,518,738,513

独立行政法人森林総合研究所

理事長 鈴木 和 夫 殿

独立行政法人通則法第38条第2項の規定による
財務諸表及び決算報告書に関する監事意見書

独立行政法人森林総合研究所の平成25事業年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の決算について監査を行った結果、財務諸表(貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書及びこれらの附属明細書をいう。)及び決算報告書に関する監事の意見は、次のとおりです。

- 1 財務諸表は、法令及び独立行政法人森林総合研究所の規程の定めるところに従い、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 決算報告書は、法令及び独立行政法人森林総合研究所の規程の定めるところに従い、収入及び支出の状況を正しく示しているものと認めます。

平成 26 年 6 月 18 日

独立行政法人森林総合研究所

監事

滑志田 隆 

監事

西田 篤實 

独立監査人の監査報告書

平成26年6月18日

独立行政法人 森林総合研究所

理事長 鈴木 和 夫 殿

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

品田和之

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

白山真一

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

山崎聡一

<財務諸表監査>

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下、「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人森林総合研究所の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第13期事業年度のすべての勘定に係る勘定別利益の処分に関する書類（案）を除く財務諸表、すなわち、すべての勘定に係る勘定別貸借対照表、勘定別損益計算書、勘定別キャッシュ・フロー計算書、勘定別行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び勘定別附属明細書からなる勘定別財務諸表並びに法人単位貸借対照表、法人単位損益計算書、法人単位キャッシュ・フロー計算書、法人単位行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び法人単位附属明細書からなる法人単位財務諸表について監査を行った。

財務諸表に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表（すべての勘定に係る勘定別利益の処分に関する書類（案）を除く。以下同じ。）を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽の表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。この監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。監査は、独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす要因となる場合があることに十分留意して計画される。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正及び誤謬並びに違法行為による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法並びに独立行政法人の長によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽の表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

監査意見

当監査法人は、上記の研究・育種勘定、特定地域整備等勘定及び水源林勘定に係る各勘定別財務諸表並びに法人単位財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人森林総合研究所の各勘定及び法人単位の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<通則法が要求する利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する意見>

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人森林総合研究所の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第13期事業年度の各勘定に係る利益の処分に関する書類（案）及び各勘定に係る決算報告書について監査を行った。

利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した利益の処分に関する書類（案）を作成すること及び予算の区分に従って決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、利益の処分に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか及び決算報告書が予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から意見を表明することにある。

通則法が要求する利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する監査意見

当監査法人の監査意見は次のとおりである。

- (1) 各勘定に係る利益の処分に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (2) 各勘定に係る決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認める。

<事業報告書に対する報告>

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人森林総合研究所の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第13期事業年度の事業報告書（会計に関する部分に限る。）について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。ただし、当監査法人は、第11期事業年度及び第13期事業年度に会計監査人に選任されたので、事業報告書に記載されている事項のうち第10期事業年度以前及び第12期事業年度の会計に関する部分は、前任会計監査人の監査を受けた財務諸表に基づき記載されている。

事業報告書に対する報告

当監査法人は、事業報告書（第11期事業年度及び第13期事業年度の会計に関する部分に限る。）が独立行政法人森林総合研究所の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認める。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

森林保険業務の受入に伴う名称及び設置場所について（案）

平成 26 年 4 月 16 日に森林国営保険法等の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 21 号）が公布されたことを受け、平成 27 年 4 月 1 日の森林保険業務の円滑な承継に向け、システム改修等の準備を進めるにあたり、名称及び設置場所を確定する必要がある。

諸条件を総合的に検討した結果、下記の方角としたい。

記

1. 名称

「森林保険センター」とする。

2. 設置場所

神奈川県川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル
森林農地整備センターと同じ建物内

3. 組織図

森林総合研究所

本所

（つくば市）

— 林木育種センター （日立市）

— 森林バイオ研究センター （日立市）

— 森林農地整備センター （川崎市）

— 森林保険センター （川崎市）

一般職員採用スケジュール等について（案） （研究・育種分）

平成 26 年度の一般職員の採用スケジュール等については、下記のとおり進めて参りたい。

記

1. 採用スケジュール

	平成 26 年度（案）	平成 25 年度
公募開始	9 月初旬	12 月 19 日
公募締切り	10 月中旬	1 月 22 日
書類選考	11 月初旬	2 月 6 日
面接試験	11 月中旬	2 月 24 日
内定通知	11 月末	2 月 26 日
採用日	平成 27 年 4 月 1 日	4 月 1 日

2. 採用予定数 6 人程度（森林 4 人、育種 2 人）

3. 試験会場等

（1）本支所

書類選考（一次試験）については、遠方からの応募者に考慮し、東日本と西日本の 2 会場で行うことを検討。なお、面接試験（二次試験）については、本所で実施する。また、公募の条件については、弾力的採用に向けて検討を行う。

（2）育種センター

書類選考（一次試験）については、林木育種事業の特殊性を考慮し、平成 26 年度国家公務員一般職（大卒程度試験（区分：林学）最終合格発表日 8 月 20 日）第一次試験合格者とする。

なお、面接試験（二次試験）については、林木育種センターで実施する。

4. 昨年度よりスケジュールを早めた理由

- 12 月公募では各種採用試験が終了し、おおかたの就職希望者は就職先が内定しており、優秀な人材の確保が困難なこと。
- 都道府県、市役所、国家公務員の内定が 11 月であること。
- 民間を含めて就職状況が好転していること。

森林総合研究所創立 110 周年記念行事について

独立行政法人森林総合研究所は、平成 27 年 11 月 1 日をもって創立 110 周年を迎えるにあたり、10 年刻みで行ってきた記念行事の検討を行うこととしたい。

時代の変化、運営費交付金の業務費及び一般管理費が毎年削減される中、その実施方法については、別添 1 の手法の可否を含めて今後検討することとしたい。

なお、育種については、平成 19 年 11 月に林木育種事業発足 50 周年として実施しており、60 周年についてはその時期に検討することとしたい。

参考：90 周年の記念行事

1. 日時 平成 7 年 11 月 1 日（水）

2. 記念行事

- ① 記念式典 （於 森林総合研究所 体育館） 11：00～
- ② 記念植樹 （於 森林総合研究所 構内）
- ③ 記念パーティー(1)（於 ホテル） 12：30～
- ④ 記念パーティー(2)（於 森林総合研究所 体育館） 17：00～

3. 記念品

- ① 90 年のあゆみ
- ② 研究成果選集
- ③ 元職員名簿
- ④ 割箸

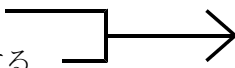
別添 1

創立 1 1 0 周年記念行事の手法の可否について

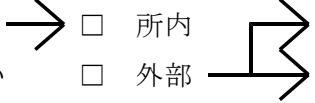
平成 2 7 年 1 1 月 1 日をもって創立 1 1 0 周年を迎えるにあたり、運営費交付金の業務費及び一般管理費が毎年大幅に削減される中、下記についてどのようなコンセプトで行うのか確認したい。

記

1. 記念誌「1 1 0 年のあゆみ」

- | | | |
|--|---|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> これまで同様に製本して発刊する |  | <input type="checkbox"/> 無料配布 |
| <input type="checkbox"/> 経費節減のためDVDとして配布する | | <input type="checkbox"/> 販売 |
| <input type="checkbox"/> 作成しない。 | | |

2. 記念式典

- | | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 開催する |  | <input type="checkbox"/> 所内 | <input type="checkbox"/> つくば | <input type="checkbox"/> 参加者を広く招待する |
| <input type="checkbox"/> 開催しない | | <input type="checkbox"/> 外部 | <input type="checkbox"/> 東京 | <input type="checkbox"/> 参加者を最小限に限定する |

3. 祝賀会

- | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 開催する。 |  | <input type="checkbox"/> 所内 | <input type="checkbox"/> 参加者を広く招待する |
| <input type="checkbox"/> 開催しない | | <input type="checkbox"/> 外部 | <input type="checkbox"/> 参加者を最小限に限定する |

4. 賛助金

- ☐ 集める
☐ 集めない

5. イベント

- | | | |
|-------------|---------------------------------|----------------------------------|
| (1) 記念植樹 | (<input type="checkbox"/> やる | <input type="checkbox"/> やらない) |
| (2) 記念講演会 | (<input type="checkbox"/> やる | <input type="checkbox"/> やらない) |
| (3) 記念品 | (<input type="checkbox"/> 作成する | <input type="checkbox"/> 作成しない) |
| (4) タイムカプセル | (<input type="checkbox"/> やる | <input type="checkbox"/> やらない) |
| (5) 感謝状授与 | (<input type="checkbox"/> やる | <input type="checkbox"/> やらない) |

平成 2 6 年度会計監査人候補者の選定について

独立行政法人通則法に基づく会計監査人の候補者の選任の手続きについては、本年 4 月 1 0 日及び 5 月 1 5 日の理事会において承認を得、提案書の募集及び候補者の選定手続を進めてきたところ、先般、会計監査人候補者審査委員会において、以下のとおり会計監査人候補者を選定したので、理事会で承認後、監事の同意を得て文書決裁に付し、農林水産大臣への選任請求を行うこととしたい。

（候補者名）

有限責任監査法人トーマツ

（候補者とした理由）

平成 2 6 年度会計監査人候補者の選定に当たり、提案書の募集公告を森林総合研究所のホームページに掲載したところ、新日本有限責任監査法人、有限責任監査法人トーマツ、有限責任あずさ監査法人の 3 者から提案書の提出があった。

提出のあった提案書について内容を検討したところ、3 者とも多くの独立行政法人の監査実績を持ち、独立行政法人の制度及び会計に精通するなど監査業務及び支援業務が効率的かつ円滑に実施されると判断された。中でも有限責任監査法人トーマツは、監査体制及び監査日数等の監査内容において高い評価を得るとともに、監査費用も妥当と判断され、同監査法人が当所の会計監査人候補者として最適と判断される。

なお、同監査法人は平成 2 3 年度及び平成 2 5 年度に当所の会計監査人として、その業務に携わったところであるが、誠実かつ確実に履行されたところである。

**独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター職員募集
(事務系・平成27年4月 1 日付け採用) のお知らせ(案)**

独立行政法人森林総合研究所では、下記のとおり一般職員（事務系）の募集を行います。
今回の採用予定数、応募条件、選考方法等は下記のとおりです。
なお、森林総合研究所では男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募をお待ちしています。

記

1 採用予定数

若干名

2 職務の内容

森林農地整備センターが行う水源林造成事業等に関する業務

(注)研究職ではありません。

3 応募条件（以下の条件を全て満たす者）

- (1) 昭和54年4月2日に以降生まれ者
- (2) 大学を卒業した者又は平成27年3月までに卒業見込みの者（新卒既卒不問、文系理系不問）
- (3) 全国転勤可能な者
- (4) 次の各号のいずれにも該当しない者
 - 一 成年被後見人又は被保佐人
 - 二 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
 - 三 懲戒免職又はこれに相当する処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - 四 日本の国籍を有しない者
 - 五 今年度実施した技術系採用試験に応募された者

4 選考方法

- (1) 1次試験
 - 一般教養【60分】（多肢選択式：言語・数理・状況判断・論理・社会的常識等）
 - 事務能力【50分】（多肢選択式：照合・分類・計算・読図）
 - 論文試験【50分】（記述式）
 - ・試験日時 平成26年9月27日(土)
12:30（集合） 13:00（試験開始）～16:00（試験終了）
 - ・試験会場 札幌市、仙台市、川崎市、名古屋市、京都市、岡山市、福岡市
会場等の詳細については、9月中旬頃に応募者に御案内します。
 - ・1次試験合格発表10月上旬 可否にかかわらず1次試験受験者全員に郵送で通知

(注)応募者多数の場合は、書類選考を行う場合があります。
- (2) 2次試験
 - 人物試験（個別面接）
 - ・試験日時 平成26年11月15日（土）（注）時間等は個別に連絡
 - ・試験会場 神奈川県川崎市（森林農地整備センター本部）
 - ・最終合格発表12月上旬 可否にかかわらず2次試験受験者全員に郵送で通知

5 勤務地

森林農地整備センター本部（神奈川県川崎市）のほか、北海道から九州までの全国各地にある整備局、水源林整備事務所

（注）今後、北海道から九州まで全国各地の事務所等への転勤があります。

6 給与

独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき支給

大学卒初任給 月20万円程度（ただし、採用前の職歴等により経験年数分の加算あり）

（上記のほか、支給要件を満たす場合、扶養、地域、住居、通勤、期末・勤勉手当等あり）

7 勤務時間・休暇

勤務時間は8時30分から17時15分（本部及び関東整備局は9時から17時45分）の1日7時間45分、原則として土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。

休暇には、年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日。残日数は20日を限度として翌年に繰越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等）、介護休暇があります。

年金・健康保険については、共済組合制度加入。

8 提出書類

（1）履歴書 当センターホームページ(<http://www.green.go.jp/>)掲載の指定様式

（注）メールアドレスがあれば必ず記載してください。また、顔写真は必ず添付してください。

（2）1次試験合格者については、下記書類を2次試験前までに提出。なお、大学院修了（見込み）者の場合は大学の証明書も併せて提出

① 最終学歴の卒業証明書（卒業見込証明書）

② 最終学歴の成績証明書

9 応募書類の提出先

封筒に朱書きで「一般職員採用応募書類在中」と明記の上、下記まで送付してください。

なお、提出された書類は返却しませんのでご了承ください。

＜送付先＞ 〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2 興和川崎西口ビル11F
独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター 管理部労務課人事係

10 応募締切

平成26年8月29日（金）（17時必着・締切日厳守）

申込みは、郵送又は直接持参の方法によります。

11 その他

受験に際して発生する旅費・宿泊費等は、応募者の自己負担とします。

なお、記載されている個人情報については、本採用試験以外には使用しません。

12 問い合わせ先

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2 興和川崎西口ビル11F

独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター 管理部労務課人事係

担当：園田、飛鳥川

Tel：044-543-2504

E-Mail：center-jinji@green.go.jp

森林保険移管準備拡大プロジェクトチーム（第1回） 議 事 次 第

日時：平成26年6月24日（火）

16:30～18:00

場所：農林水産省 7階 林政部会議室

- 1 移管準備について
- 2 森林保険法に係る政省令について
- 3 その他

配布資料

- 資料1-1 移管準備の進捗状況について
- 資料1-2 規程類の分担
- 資料1-3 森林総研との当面（1～2か月）の調整事項
- 資料1-4 都道府県森林国営保険担当課長等会議資料
- 資料1-5 都道府県森林国営保険担当課長等会議での主な意見
- 資料1-6 森林国営保険契約に係る関係文書の引き継ぎについて（事務連絡）
- 資料1-7 森林災害予防啓発普及事業に関する要望調査について（事務連絡）
- 資料2 森林保険法に係る政省令について

森林保険移管準備拡大プロジェクトチーム（第1回） 出席者

林 野 庁

計画課

課長 桂川 裕樹

森林保険制度等検討室(森林保険移管準備室)

調査官 猪島 康浩

課長補佐 渡邊 泰輔

課長補佐 松永 彦次

課長補佐 安高 志穂

課長補佐 山下 誠

研究指導課

課長補佐 佐野 由輝

整備課

課長補佐 久保 芳文

独立行政法人森林総合研究所

本所

理事（企画・総務担当） 鈴木 信哉

総務部長 飯干 好徳

総合調整室長 松井 正

林木育種センター

審議役 安樂 勝彦

育種企画課長 辻 祐司

森林農地整備センター

総括審議役（人事・労務担当） 富澤多美男

審議役（組織運営担当） 原田 隆行

管理部長 下平 敦

上席参事 野畑 直城

平成26年6月24日

森林保険移管準備拡大プロジェクトチームの設置について

1 趣旨

森林国営保険法等の一部を改正する法律に基づき、平成27年4月1日に森林保険事業を政府から独立行政法人森林総合研究所（以下「森林総研」という。）に移管するため、林野庁及び森林総研が連携して、円滑な移管を実現することを目的として、「森林保険移管準備拡大プロジェクトチーム」（以下「PT」という。）を設置する。

2 PTの構成

PTの構成は以下のとおりとする。

林 野 庁

計 画 課	森林保険制度等検討室（森林保険移管準備室）調査官及び班長
計 画 課	保険経理班長
研究指導課	研究班長
整 備 課	業務管理班長

森林総研 森林保険受け入れ検討チームのうち

森 林 総 合 研 究 所 作 業 チーム

チーム長	総務部長
メンバー	総合調整室長
	研究企画科長
	研究管理科長
	総務課長

林 木 育 種 センター作業チーム

チーム長	審議役
メンバー	育種企画課長
	管理課長

森 林 農 地 整 備 センター作業チーム

チーム長	審議役（組織運営）
メンバー	管理部長
	森林業務部長
	管理部次長
	森林業務部次長
	上席参事（企画調整）
	上席参事（経理）
	企画管理課長

※ なお、森林保険制度等検討室 調査官 をPTチーム長とする。

3 PTの庶務

PTの庶務は、林野庁森林整備部計画課森林保険制度等検討室で行う。

4 その他

月1回を目途にPTを開催し、必要に応じて、構成員内外の関係者の参集を得ることとする。

森林保険移管準備拡大プロジェクトチーム（第2回） 議 事 次 第

日時：平成26年7月4日（金）

15:00～17:45

場所：（独）森林農地整備センター役員会議室

- 1 会計システム等について
 - ・ 保険事業（独法）会計システムの構築
 - ・ 関係規程等の確認
- 2 その他

森林総合研究所本所等支出総点検プロジェクトチーム会議について

平成26年度は、4月・5月の状況から、このままでは電気料金で約5000万円、ガス料金で約2000万円の増加が予想され、本来業務に支障が出ることも懸念されることから、標記会議を緊急に開催した。概要は下記のとおりである。

記

1 開催日時

平成26年7月8日（火） 10：00～

2 出席者（構成員）

企画・総務担当理事、総括審議役、審議役、総合調整室長、企画部長
総務部長、研究企画科長、総務課長、経理課長、用度課長、管財課長
管理主幹

3 議事：平成26年度の支出削減を図るための取組みについて

- （1）電気・ガス・上下水道の使用状況と支出削減対策について
- （2）夏期節電対策について
- （3）冷蔵庫等の設置・使用状況調査について
- （4）業務経費の支出点検項目について

4 今後の支出削減対策

（1）電気

- ①特殊空調機等を対象に、チームを編成し査察（調査）する。結果を分析し、対策を実施する。
- ②夏期の節電対策を徹底する。
- ③冷蔵庫等の集約化・廃棄等について、事務局から方針を示し領域等に検討・実施を指示する。さらに、その実施状況について、チームを編成し査察（調査）する。結果を分析し、場合によっては更なる対策を検討する。

（2）ガス

運転方式等をメンテナンス会社と協議し、対策を実施する。

（3）業務経費

研究職員に配賦する経費、研究機器の整備・運用経費、研究環境整備に要する経費、研究運営費、特別掲示要求について、従来の考え方の見直し、整理が必要であり、検討中との報告があった。

研究職員公募一覧(平成26年10月)

応募 No	試験研究機関名	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
1	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	ビッグデータによる樹木生態情報の収集・解析による森 林生態系機能の解明と森林管理技術の開発	科学的な森林管理のために精度・信頼性の高いシミュレータの開発が必要とされているため、ビッグ データから森林・樹木の生態情報を収集し解析することで森林管理と生態系機能に関する一般性・ 応用性の高い理論を導出する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③世界規模で森林・樹木の生態データを収集・解析した 経験を有する者。 ④勤務地:本所(つくば市)
2	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	サクラ等のバイオリソース確立と管理利用技術の開発	サクラ等のバイオリソース確立と高度活用が必要とされており、形質情報と識別情報を統合した正確 な系統保全を推進するとともに、有用形質の発揮に関する課題推進のため、サクラ等バイオリソース の新たな活用技術を開発し普及をはかる。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③サクラ類の系統保全とバイオリソースに関する研究実 績を有する者。 ④勤務地:多摩森林科学園(八王子市)
3	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	森林経営の産業化に資する手法の開発研究	産学官連携の一環として、林地投資や森林経営の信託化なども含め、産業としての林業の確立に向 け、森林経営の今後望まれる形態を解明・評価するための研究を東北地方を事例として行う。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③勤務地:東北支所(盛岡市)
4	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	木材中の放射性物質移動プロセスの解明	放射性物質により汚染された樹木内及び木材内における汚染の状態を把握することが必要とされて おり、これに対応するため、木材中の放射性セシウム移動実態を解明するとともに放射性物質分布 評価に対応する手法の高度化を行う。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③木材物理学に関する広範な知識と樹木中の放射性物 質に関する研究実績を有する者。 ④勤務地:本所(つくば市)
5	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	大規模木質構造に資する新たな構造要素技術の開発	公共建築物等への木材利用の促進に向けた大規模建築物における木質構造の信頼性と快適性の 発揮に関する課題推進のため、新たな工法提案に資する木質構造の要素技術を開発する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③大規模建築物に資する木質構造の研究実績を有する 者。 ④勤務地:本所(つくば市)
6	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	森林の炭素循環プロセスと社会経済的分析に基づく地球 温暖化の緩和策および新たな適応策のベストミックスに 関する研究	森林生態系全体の炭素循環プロセスに基づく温暖化予測に加え、エリートツリーの導入など新たな 適応策を社会経済的な視点を含めて解析し、緩和策および適応策の相互作用を考慮したベストミッ クスを研究する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③森林炭素蓄積量モニタリング技術:国内外の森林 炭素動態、炭素蓄積量推定に関する研究実績を有する 者。 ④勤務地:本所(つくば市)
7	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	気候変動枠組み条約、生物多様性条約を含む、森林・林 業の国際制度・政策等の形成に関する研究	気候変動枠組条約、生物多様性条約等の国際制度形成や政策立案について、科学的な専門性や国 際的な関係性をふまえて研究し、国際的な目的達成と我が国の政策推進に貢献する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③国際的・政策的形成や実施に関して研究実績を 有する者。 ④勤務地:本所(つくば市)
8	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	交雑育種の高速化に必要な革新的な交配技術の開発	森林吸収源対策や低コスト造林に資する成長等が格段に優れた品種の開発に必要な交雑育種の高 速化のため、革新的な着花の制御技術を重要な育種対象樹種について開発する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③着花・開花に関する樹木の生理学的研究の実績を有 し、林木育種における着花・開花制御に関する研究に意 欲のある者。 ④勤務地:林木育種センター(日立市)
9	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	林木遺伝資源の先端的な保存技術の開発に関する研究	多くが巨大であり他殖性である樹木をクローンとして安全かつ大量に長期間保存するためには、微少 な栄養体の施設内での保存が必要であり、林木遺伝資源の効率的な保存に関する課題推進のため 、樹木栄養体の凍結耐性のメカニズムを解明し、それぞれの樹種に適応した長期保存技術を開発 する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③植物生理や組織培養に関する研究実績を有し、樹木 栄養体の保存に関する研究に意欲を有する者。 ④勤務地:林木育種センター(日立市)
10	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森 林総合研究所職 員給与規程に基 き決定	任期の定めな し:定年60歳	気候変動に対応した林木の品種開発の高度化に関する 研究	気候変動への育種対応が必要とされており、高温、乾燥、新たな病虫害等の環境変化に対応する 育種を推進するため、環境刺激に対する生理的反応を定量化し、林木の品種開発を推進する技術を 開発する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③外部刺激応答に関する樹木の生理学的研究の実績を 有し、林木の耐環境性・抵抗性育種研究に意欲のある 者。 ④勤務地:林木育種センター(日立市)

平成26年10月 研究職員募集のお知らせ

独立行政法人森林総合研究所では、下記のとおり研究職員の募集を行います。
今回の採用予定数、応募条件、選考方法等は下記のとおりです。
なお、森林総合研究所では男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募をお待ちしています。

記

- 1 採用予定数 10名
- 2 採用予定の試験研究機関名、配属研究領域等、待遇、任期、研究課題、研究業務内容、応募条件
別表「研究職員公募一覧」のとおり
- 3 応募条件
 - (1) 博士の学位を有する者又は取得予定者（採用予定日までに学位取得可能な者）
 - (2) 試験研究職員として特別な知識、能力又は技術を有する者
別表「研究職員公募一覧」の研究内容のとおり
- 4 採用試験の欠格事項
次の各号のいずれかに該当する者は、採用試験を受けることができません。
 - 一 成年被後見人又は被保佐人
 - 二 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
 - 三 懲戒免職又はこれに相当する処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - 四 日本の国籍を有しない者のうち、次のいずれかに該当する者
 - ア 採用後に従事することとなる職務を遂行するために必要な在留資格（出入国管理及び難民認定法第2条の2の規定による在留資格をいう。）を有しない者
 - イ 日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者でない者（採用後に従事することとなる職務を遂行するために必要な在留資格を有する者を除く。）
- 5 提出書類
 - (1) 履歴書（市販のJIS様式又はこれに準拠するもの。高等学校卒業以降を記入）
注1）メールアドレスがあれば必ず記載してください。また、顔写真は必ず添付してください。
 - 2）森林総合研究所では次世代育成支援を推進しています。育児又は介護による研究中断期間のある方は、性別にかかわらず履歴書にご記入ください。
 - (2) 学位授与証明書、修了見込証明書又は学位証の写し（A4版にコピー）
 - (3) 研究業績目録（森林総合研究所HPに掲載の書式又はこれに準拠して、主たる研究業績の背景、方法、成果及び評価の解説を付記すること）
森林総合研究所採用情報HPアドレス：
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/saiyou/index.html>
 - (4) 主要論文3報のコピー各1部（A4版で提出願います。両面可）
 - (5) 研究を行うに当たっての抱負（A4版1枚程度）1部
 - (6) 応募者についての意見を求め得る方2名の氏名、所属と連絡先電話番号
- 6 応募書類の提出先
封筒に**朱書き**で「**研究職員採用応募書類在中**」と「**応募 No.**」（研究職員公募一覧を参照）を必ず明記のうえ、下記まで送付のこと。なお、提出された書類は返送致しませんのでご了承ください。
＜送付先＞ 〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
独立行政法人 森林総合研究所 総務部 総務課 人事係
- 7 応募締切
平成26年8月1日（金） （17時必着・締切日厳守）

8 選考採用試験

(1) 書類審査 平成26年8月中旬

(2) 面接試験 平成26年8月28日(木)(都合により変更する場合があります。)

9 採用時期

平成26年10月1日

10 給与

独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき支給します。

(上記のほか支給要件を満たす場合、扶養、地域、住居、通勤、期末・勤勉手当等あり)

11 その他

- ・年金・健康保険については共済組合制度加入
- ・選考に際して発生する旅費・宿泊費等は、応募者の自己負担とする。
- ・応募書類は返却しない。なお、記載されている個人情報については、本採用事案以外使用しない。

12 問い合わせ先

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

独立行政法人森林総合研究所 総務部総務課

海老原(課長補佐)・高橋(人事係長)

Tel : 029-829-8155 又は 029-829-8156

E-Mail : jinji@ffpri.affrc.go.jp

テニユア型任期付研究職員公募一覧(平成26年10月)

テニユア 応募No	試験研究機関名	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
1	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	3年	森林の生物多様性および生態系機能・サービスの評価	生物多様性保全と持続可能な生態系サービス利用に資するため、異なるスケールで森林の生物多様性と生態系機能や生態系サービスの評価を行うことを目的とする研究を行う	①英語での論文作成および研究活動を行える者。 ②採用時に博士の学位を有する者 ③空間統計解析および群集解析の知識と技術を有する者 ④生物多様性野外調査の経験を有する者 ⑤勤務地：本所(つくば市)
2	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	3年	ラテンアメリカ等熱帯域の森林炭素モニタリングシステムの開発	REDDプラス実施対象国となる熱帯域、特にラテンアメリカでの森林炭素のモニタリングに必要な衛星データ解析技術の開発と森林減少抑制政策に必要な空間情報データベースの構築を行う。	①英語での論文作成および研究活動を行えるとともにスペイン語に堪能な者。 ②採用時に博士の学位を有する者 ③森林モニタリングのためのリモートセンシング及びGIS技術を有する者 ④中南米の森林モニタリング調査の経験を有する者 ⑤勤務地：本所(つくば市)
3	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	3年	菌根性きのこの栽培技術の開発	栽培が困難である菌根性の食用きのこの野外での育成および子実体発生に関する研究を行い、林地を利用した菌根性きのこの栽培技術を開発する。	①英語での論文作成および研究活動を行える者。 ②採用時に博士の学位を有する者 ③菌根形成に関する広範な知識と技術を有する者 ④きのこの栽培に関する知識と技術を有し、十分な経験がある者 ⑤勤務地：本所(つくば市)
4	森林総合研究所	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	3年	木質バイオマス成分からの機能性バイオポリマーの開発	木質バイオマスを有効利用する新産業の創出のためには、木質バイオマス成分から高付加価値のバイオポリマーを製造する技術開発が有効であり、木材成分を有用なバイオポリマーに変換する技術と機能性の付与技術を開発する。	①英語での論文作成および研究活動を行える者。 ②採用時に博士の学位を有する者 ③高分子材料化学の知識を有する者 ④バイオポリマーの開発に広範囲な知識を有する者 ⑤勤務地：本所(つくば市)

平成26年10月 テニユア型任期付研究職員募集のお知らせ

独立行政法人森林総合研究所では、下記のとおり研究職員の募集を行います。
今回の採用予定数、応募条件、選考方法等は下記のとおりです。
なお、森林総合研究所では男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募をお待ちしています。

記

- 1 採用予定職／人員
テニユア型任期付研究職員／4名
- 2 採用予定の試験研究機関名、配属研究領域等、待遇、任期、研究課題、研究業務内容、応募条件
別表「テニユア型任期付研究職員公募一覧」のとおり
- 3 応募条件
(1) 博士の学位を有する者又は取得予定者（採用予定日までに学位取得可能な者）
(2) 試験研究職員として特別な知識、能力又は技術を有する者
別表「テニユア型任期付研究職員公募一覧」の研究内容のとおり
- 4 採用試験の欠格事項
次の各号のいずれかに該当する者は、採用試験を受けることができません。
 - 一 成年被後見人又は被保佐人
 - 二 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
 - 三 懲戒免職又はこれに相当する処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - 四 日本の国籍を有しない者のうち、次のいずれかに該当する者
 - ア 採用後に従事することとなる職務を遂行するために必要な在留資格（出入国管理及び難民認定法第2条の2の規定による在留資格をいう。）を有しない者
 - イ 日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者でない者（採用後に従事することとなる職務を遂行するために必要な在留資格を有する者を除く。）
- 5 提出書類
(1) 履歴書（市販のJIS様式又はこれに準拠するもの。高等学校卒業以降を記入）
注1）メールアドレスがあれば必ず記載して下さい。また、顔写真は必ず添付して下さい。
2）森林総合研究所では次世代育成支援を推進しています。育児又は介護による研究中断期間のある方は、性別にかかわらず履歴書にご記入下さい。
(2) 学位授与証明書、修了見込証明書又は学位証の写し（A4版にコピー）
(3) 研究業績目録（森林総合研究所HPに掲載の書式又はこれに準拠して、主たる研究業績の背景、方法、成果及び評価の解説を付記すること）
森林総合研究所採用情報HPアドレス：
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/saiyou/index.html>
(4) 主要論文3報以内のコピー各1部（A4版で提出願います。両面可）
(5) 研究を行うに当たっての抱負（A4版1枚程度）1部
(6) 応募者についての意見を求め得る方2名の氏名、所属と連絡先電話番号
- 6 応募書類の提出先
封筒に朱書きで「**テニユア型任期付研究職員採用応募書類在中**」と「**テニユア応募No.**」（テニユア型任期付研究職員公募一覧を参照）を必ず明記のうえ、下記まで送付のこと。なお、提出された書類は返送致しませんのでご了承下さい。
＜送付先＞ 〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
独立行政法人 森林総合研究所 総務部 総務課 人事係
- 7 応募締切

平成26年8月1日（金）（17時必着・締切日厳守）

8 選考採用試験

（1）書類審査 平成26年8月中旬

（2）面接試験 平成26年8月27日（水）（都合により変更する場合があります。）

9 採用時期

平成26年10月1日

10 任期

平成29年9月30日まで

11 その他

希望者にはテニユア審査を実施し、テニユア獲得の場合はパーマネントとして採用します。

給与は、独立行政法人森林総合研究所職員給与規程により支給します。

12 問い合わせ先

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

独立行政法人森林総合研究所 総務部総務課

海老原（課長補佐）・高橋（人事係長）

Tel：029-829-8155 又は 029-829-8156

E-Mail：jinji@ffpri.affrc.go.jp

Recruitment of Fixed-term Research Scientists

No	Institute	Location	Research Title	Research Program	Additional skills or qualifications required by the position
1	Forestry and Forest Products Research Institute	Tsukuba, Ibaraki	Assessment of forest biodiversity and ecosystem functions/services	Assessment of forest biodiversity ecosystem functions and/or services at different scales for conservation of biodiversity and sustainable use of ecosystem services	<ul style="list-style-type: none"> • Applicants must possess a doctoral degree prior to the date of employment. • Expertise on spatial statistics and community structure analysis • Demonstrated experience of field work for biodiversity studies
2	Forestry and Forest Products Research Institute	Tsukuba, Ibaraki	Development of forest carbon monitoring system for REDD+	Development of techniques of satellite data analysis for forest carbon monitoring in REDD+ participating countries, and construction of spatial information database for REDD+ policy.	<ul style="list-style-type: none"> • Applicants must possess a doctoral degree prior to the date of employment. • Expertise knowledge on remote sensing technology and practical skills of geographical information technology • Demonstrated experience of forest carbon monitoring study in Central and South America.
3	Forestry and Forest Products Research Institute	Tsukuba, Ibaraki	Development of technologies for mycorrhizal mushroom cultivation	<p>Development of technologies for cultivation of edible mycorrhizal mushrooms that are uncultivable to date.</p> <p>Development of technologies for creating and transplanting mycorrhizal nursery plant for the production of mushroom.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Applicants must possess a doctoral degree prior to the date of employment. • Comprehensive knowledge and technique to form mycorrhizas • Theoretical and practical knowledge and technique of mushroom cultivation
4	Forestry and Forest Products Research Institute	Tsukuba, Ibaraki	Development of functional biopolymers from woody biomass	For the creation of woody biomass based new green business, development of value-added biopolymers will be effective. Therefore, to enhance effective utilization of woody biomass by developing the techniques of conversion of woody biomass into useful and functional biopolymer.	<ul style="list-style-type: none"> • Applicants must possess a doctoral degree prior to the date of employment • Theoretical and practical knowledge in polymer chemistry. • Comprehensive knowledge and technique in biopolymer development

Recruitment of fixed-term research scientists to study forestry and forest products

1. Research institutes, Research Division (Location), and Research programs

- [1] Please see the separate table. Applicants may submit multiple applications.
- [2] We are planning to recruit 4 new fixed-term tenure-track research scientists in total.

2. Qualifications for application

- [1] Applicants must possess, or be scheduled to obtain, a doctoral degree prior to the date of employment.
- [2] Applicants should have the knowledge, ability, and/or techniques necessary for employment as a member of the research scientists in charge of the research theme of the intended post.
- [3] Applicants may be of any nationality, but communicative competence in English is necessary.
- [4] In cases where applicants' publications and qualifications are evaluated as being equivalent, FFPRI will give precedence to the employment of women and foreign nationals for these posts.
- [5] No person falling under any of the following items shall be eligible for the application:
 - (1) An adult ward or a person under guardianship;
 - (2) A person who has been sentenced on account of a crime by imprisonment or more serious punishment, and of whom the execution of the sentence has not been completed or who has not yet ceased to be amenable to the execution of the sentence;
 - (3) A person who was dismissed by disciplinary action and a period of two years has not expired since the day of that disposition;
 - (4) A person who does not have Japanese nationality falling under any of the following items:
 - (i) A person who does not have a status of residence;
 - (ii) A person who is not a special permanent resident provided for by the Special Act on the Immigration Control of, Inter Alia, Those who have Lost Japanese Nationality Pursuant to the Treaty of Peace with Japan (Act No. 71 of 1991)

3. Employment term

- [1] Three (3) years, in principle (until September 30, 2017)
- [2] Tenure evaluation will be carried out until the end of employment term, but the applicant may apply for a post as permanent staff when FFPRI invites public applications separately for such a post.

4. Application documents

- [1] Curriculum vitae (download the format)
- [2] Summary of current research and major achievements (1 page A4 size, free format)
- [3] List of publications (download the format)
- [4] Copy of major publications (no more than three)
- [5] Your future ambitions (1 page A4 size, free format)
- [6] Two names of recommending persons (1 page A4 size, free format: The name, affiliation, title, phone number, and e-mail address of the recommending person must be written in the letter.)
- [7] Contact address of the applicant (1 page A4 size, free format: Postal address, phone, fax, e-mail)

[Note] Submitted documents are strictly protected under FFPRI's Privacy Policy and will be used only for the purpose of applicant screening. Personal information will not be disclosed, transferred, or loaned to a third party under any circumstances without legitimate reasons. Documents will not be returned.

The formats of the files can be downloaded from the following website:

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/en/recruit/20140623/index.html>

5. Document destination address

- [1] Documents should be submitted to the following address.
Mr. Fumihiko EBIHARA
Department of General Affairs, Forestry and Forest Products Research Institute
1 Matsunosato, Tsukuba, Ibaraki 305-8687 Japan

- [2] "Application of fixed-term tenure-track research scientist" should be written on the outside of an envelope.
- [3] If you submit multiple applications, please send by separate multiple e-mails.

6. Deadline

- [1] The documents must arrive by 17:00 on Friday, August 1, 2014 (Japan standard time).

7. Screening

[1] The selection committee of FFPRI will perform the primary examination based on the documents on Monday, August 18, 2014 and will notify the result by August 19, 2014.

[2] The second examination (oral interview) will be carried out in FFPRI, Tsukuba City on Wednesday, August 27, 2014. The above dates are the currently scheduled dates and are subject to change. FFPRI will inform the applicants of any changes to the schedule.

8. Start of employment October 1, 2014

9. Salary

The basic monthly salary is ¥333,000 - ¥367,000, which may be increased considering the employee's career and research activities. Allowances will be determined in accordance with the regulations of FFPRI.

10. Inquiries

If you have any questions regarding employment at FFPRI, please contact: Department of General Affairs, Forestry and Forest Products Research Institute (FFPRI) jijinji@ffpri.affrc.go.jp c/o Mr. Fumihiko EBIHARA

テニユア型任期付研究職員公募一覧(平成27年4月)

テニユア応募No	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
1	森林総合研究所	水土保全研究領域	研究職員 独立行政法人 森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	3年	森林における斜面災害発生機構の解明	森林における斜面災害発生機構を解明し、森林の土砂災害防止機能の変動を長期的・広域的に評価するための研究開発を行う。	①採用時に修士の学位を有する者 ②斜面災害に関連する地盤工学、斜面水文学、砂防工学等の研究実績があり、根系の崩壊防止機能等に関する研究意欲を有する者 ③勤務地:本所(つくば市)
2	森林総合研究所	加工技術研究領域	研究職員 独立行政法人 森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	3年	木材の機械加工に係る研究開発	低コストかつ高品質な木材供給のための木材機械加工技術の高度化に関する研究を行う。	①採用時に修士の学位を有する者 ②木材の切削加工の研究実績があり、木材機械加工技術に関する研究意欲を有する者 ③勤務地:本所(つくば市)
3	森林総合研究所	構造利用研究領域	研究職員 独立行政法人 森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	3年	木材の持つ快適性増進効果の創出技術の開発	住環境において香りや風合いなどの木質環境が人に与える影響を明らかにするため、木材の有する快適性増進効果に関する研究を行う。	①採用時に修士の学位を有する者 ②森林・住環境に関する生理学的測定・評価技術に関する研究実績を有する者。 ③勤務地:本所(つくば市)

平成27年4月 テニユア型任期付研究職員募集のお知らせ

独立行政法人森林総合研究所では、下記のとおり研究職員の募集を行います。
今回の採用予定数、応募条件、選考方法等は下記のとおりです。
なお、森林総合研究所では男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募をお待ちしています。

記

- 1 採用予定職／人員
テニユア型任期付研究職員／3名
- 2 採用予定の試験研究機関名、配属研究領域、待遇、任期、研究課題名、研究内容、応募条件
別表「テニユア型任期付研究職員公募一覧」のとおり
- 3 応募条件
 - (1) 平成27年4月1日現在で修士の学位を取得している者
 - (2) 試験研究職員として特別な知識、能力又は技術を有する者
別表「テニユア型任期付研究職員公募一覧」の研究内容のとおり
- 4 採用試験の欠格事項
次の各号のいずれかに該当する者は、採用試験を受けることができません。
 - 一 成年被後見人又は被保佐人
 - 二 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
 - 三 懲戒免職又はこれに相当する処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - 四 日本の国籍を有しない者のうち、次のいずれかに該当する者
 - ア 採用後に従事することとなる職務を遂行するために必要な在留資格（出入国管理及び難民認定法第2条の2の規定による在留資格をいう。）を有しない者
 - イ 日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者でない者（採用後に従事することとなる職務を遂行するために必要な在留資格を有する者を除く。）
- 5 提出書類
 - (1) 履歴書（市販のJIS様式又はこれに準拠するもの。高等学校卒業以降を記入）
注1）メールアドレスがあれば必ず記載して下さい。また、顔写真は必ず添付して下さい。
 - 2）森林総合研究所では次世代育成支援を推進しています。育児又は介護による研究中断期間のある方は、性別にかかわらず履歴書にご記入下さい。
 - (2) 学位授与証明書、修了見込証明書又は学位証の写し（A4版にコピー）
 - (3) 学位取得計画書（学位取得を予定する大学・学部、学位審査に必要な条件等、担当教授名、予定のテーマ、取得までのスケジュール）（A4版1枚程度）
※博士の学位を有している者は、提出不要
 - (4) 研究業績目録（森林総合研究所HPに掲載の書式又はこれに準拠して、主たる研究業績の背景、方法、成果及び評価の解説を付記すること）
森林総合研究所採用情報HPアドレス：
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/saiyou/index.html>
 - (5) 主要論文3報以内のコピー各1部（A4版で提出願います。両面可）
 - (6) 研究を行うに当たっての抱負（A4版1枚程度）1部
 - (7) 応募者についての意見を求め得る方2名の氏名、所属と連絡先電話番号
- 6 応募書類の提出先
封筒に朱書きで「**テニユア型任期付研究員採用応募書類在中**」と「**テニユア応募No.**」（テニユア型任期付研究職員公募一覧を参照）を必ず明記のうえ、下記まで送付のこと。なお、提出された書類は返送致しませんのでご了承下さい。
＜送付先＞ 〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
独立行政法人 森林総合研究所 総務部 総務課 人事係

- 7 応募締切
平成26年9月30日(火) (17時必着・締切日厳守)
- 8 選考採用試験
(1) 書類審査 平成26年10月中旬
(2) 面接試験 平成26年10月下旬予定
- 9 採用時期
平成27年4月1日
- 10 任期
平成30年3月31日まで
- 11 その他
希望者にはテニユア審査を実施し、テニユア獲得の場合はパーマネントとして採用します。
給与は、独立行政法人森林総合研究所職員給与規程により支給します。
- 12 問い合わせ先
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
独立行政法人森林総合研究所 総務部総務課
海老原(課長補佐)・高橋(人事係長)
Tel: 029-829-8155 又は029-829-8156
E-Mail: jinji@ffpri.affrc.go.jp

主要行事(平成26年6月5日～平成26年7月9日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
6月5日(木)	理事会(第3回)	理事長、各理事、両監事
9日(月)	本郷森林整備部長講演会	理事長、研究担当理事、林木育種センター所長
	決算説明会	森林農地整備センター所長
10日(火)	日本木材乾燥施設協会通常総会	企画・総務担当理事
12日(木)	決算説明会	理事長、企画・総務担当理事
13日(金)	国立環境研究所公開シンポジウム2014	理事長
	つくば市環境都市推進懇話会	研究担当理事
	決算説明会	両監事
17日(火)	会計監査人監査結果報告会	森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事
18日(水)	会計監査人監査結果報告会	理事長、企画・総務担当理事、林木育種センター所長、両監事
23日(月)	樹木医学会理事会	理事長
	林木ジーンバンク事業戦略検討会	林木育種センター所長
24日(火)	自然再生専門家会議	理事長
	独立行政法人評価委員会林野分科会(第52回)	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事
	森林保険受入れ拡大プロジェクトチーム(第1回)	企画・総務担当理事
25日(水) ～27日(金)	会計実地検査	森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事
27日(金)	林政ジャーナリストの会視察	理事長、企画・総務担当理事
	筑波研究学園都市交流協議会総会	研究担当理事
30日(月)	情報セキュリティ教育研修	理事長、企画・総務担当理事、林木育種センター所長
～7月3日(木)	監事監査(東北北海道整備局・盛岡水源林整備事務所)	滑志田監事
7月1日(火) ～6日(日)	小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会	研究担当理事
2日(水)	花粉問題対策事業者協議会通常総会及び夏季公開フォーラム	理事長
7日(月)	庁議	理事長
8日(火)	育種運営会議(第2回)	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長